



書道の大家・川上景年の作品にふれる

景年記念館は備中町出身の書道家・川上景年の作品や功績を後世に伝える書道美術館として平成9年(1997年)11月に開館しました。館内には約700点に及ぶ作品を所蔵しており、中央の八角形の展示室には額、軸など常時約20点をこえる作品が展示されています。永年にわたり、顔真卿を中心とする中国の書聖を徹底研究し、正統派の書法を究めた川上景年は数々の名誉ある賞を受賞しました。書道作品はバラエティに富んでおり、中国でも活躍していた景年の生涯の作品を鑑賞することができます。

◆ 施設のおすすめ

川上景年は大道書学院を開設し、後進の指導にあたるとともに、中国・ベルギーなどとも交流、書道文化の発展にも努めました。書道という固いイメージをもたれるかもしれませんが、川上景年の書道は楷書のような書道らしい筆づかひの作品もあれば、一見自由に描いたような型破りな作品もあります。2003年4月28日に川上景年は99歳で亡くなりましたが、今でも全国の書道家たちがこの地を訪れて川上景年の作品にふれます。

◆ 子どもたちへのメッセージ

みなさんは授業などで書道を習う機会も多いと思いますので、そんなときには高梁市備中町に川上景年という有名な書道家がいたことを思い出してください。楽しく書道を学んでもらえるときと景年もうれしいはずですよ。



景年の写真や当時の賞状など展示



景年の魅力をご紹介します



景年記念館の冊子やはがき



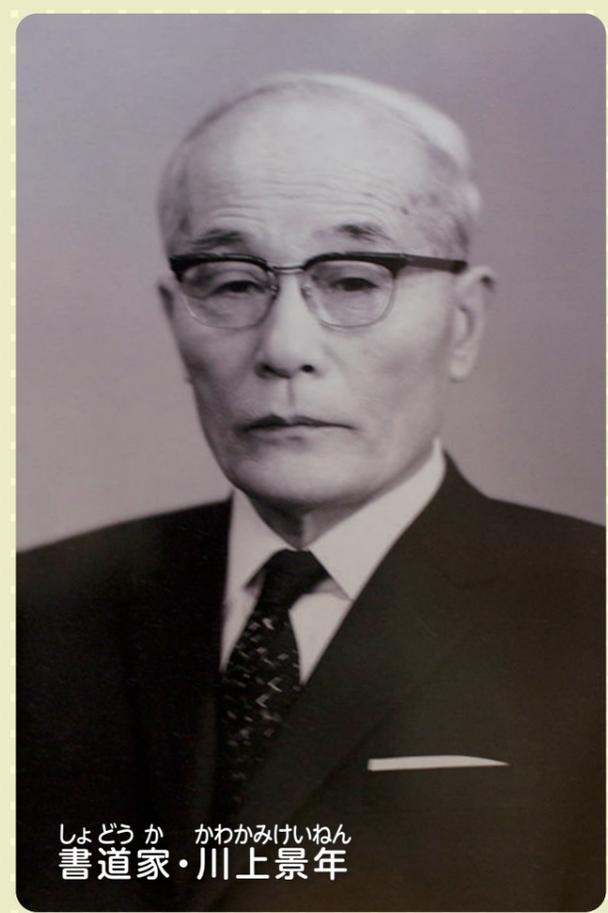
八角形の展示室



数々の名誉ある賞を受賞しました



特徴的な筆づかひの作品たち



書道家・川上景年